

武雄市行政改革市民会議（第3回）議事録

- 1 日 時 平成23年11月29日（火）14:00～15:40
- 2 場 所 武雄市役所まちづくり部棟2階会議室
- 3 出席者 9人（新納委員、中島委員、井手口委員、岩永委員、岩橋委員欠席）
- 4 議事録

○委員の交代に伴う委嘱状交付

【武雄市区長会（山内町）】 旧委員 弦巻 一男氏 → 新委員 松尾 興直氏
【JA さが みどり地区 武雄地区】 旧委員 古川 敏明氏 → 新委員 岩永 敏雄氏

○副市長あいさつ

前回のプランでは、目標額53億円に対し約78%の達成率であった。合併後、職員数約70名(病院を除く)の削減や病院、保育所の民営化など順調に行革が進んできた。未達成事項については第二次プランの中で検討していく。特にH28年以降、合併特例措置が段階的に縮減し、合併10年後のH33年度には約13億円の減額が生じる見込みであり、その財源の穴埋めをどうするかが今後の課題となる。

年金や医療の問題では、市の国民健康保険会計は非常に厳しく、H23年度末には約3億円の歳入不足が生じる見込みとなっている。保険税の増額や医療費の抑制などの対応策について早急に詰めていきたい。また高齢化の進展に伴い、扶助費が年々増加し、また道路や施設の維持補修費も増加しており、その財源をどうするかが課題となっている。今後の財政の収支が順調に進むよう見直しが必要であるため、委員の皆さんのご意見を今後の改革に活かしていきたい。

○行政改革プラン（案）について

- ・プラン（案）の概要 事務局説明

(委員) 事業の優先順位はどういったものがあるのかなど、具体的なものを挙げてもらった方が分かり易い。また道路交通法の改正に伴い、自転車や歩行者の安全についても早急な対策が必要と思う。

(事務局) 今後どういう視点で財政運営をしていくかについてであるが、高齢化の進展に伴い、介護保険事業や国民健康保険事業など扶助費への対応が大きな課題となる。市民の目線における生活レベルでの財政運営が大きな課題。H29年度には県下全体で国保会計が統合されるため、自治体ごとの赤字は自ら解消しておく必要がある。武雄市ではH23年度末見込みで約3億の赤字となる。医療費の抑制、保険税の増額、税徴収率の向上など様々な対策を考えていかなければな

らない。

また建設事業については、道路や建築物など老朽化し更新の時期にきているため、長寿命化していくといった視点で取り組んでいく。

人件費については、これまでも相当の人件費の抑制（職員数の削減）を行ってきたが、さらに削減を行う予定であり、それに伴う市民の皆さんへの負担についてはご容赦願いたい。職員も身を削り、市民の目線に立って、不要不急の事業は廃止していく。また建設的な面でも自転車の通れる歩道の整備まで手が及ばないのも現実である。

(委員) 前回までの指摘事項について教えて欲しい。

→事務局より説明。

(委員) 指摘事項①の区長（行政区）数の削減について、地元で協議してということだが、地元で検討するのは困難。何かの方策で行政がアクションを起こさなければ難しいと思う。

(委員) 指定事項②の議員定数の削減について、20人という話もあったが結果として26人になった。議員と話をする中で、議員定数は議会で決めるものであり、議会で26人に決まったのに、なぜ20人にする必要があるのかと言われた。また経費削減のためだけに定員を20人にすると、若い人が選挙で当選できず、議会の活性化につながらないということもある。諸手当等の削減などは考慮できても議会での議員定数削減は難しいのではないかと思う。

(委員) 合併当時、合併を行わない自治体も議員定数を削減しなければならなかったという時代背景もあり、議員の自覚により26人という数字になったのでは。しかし、この件についてはすぐにはできなくても、次の地方選挙時には考えていただきたいと思う。

(委員) レモンガラスやいのししの事業としてはプラスとなっているのか

(事務局) 売上額の報告は受けているが、事業としての資料は持ち合わせていない。

(委員) いのししに関しては危険であり、よく対応してもらっているが、いのししの被害や危険性について知らない人が多いので、もっと周知する必要がある。

また、みんなのバスについて、市民の方の理解が薄い。当初、市街地まで通院や買い物などに活用できると思っていた。しかしタクシーやバス会社の営業を妨害する訳にいかないなので、町内だけの運行となっている。今後の経費削減等を考えるとみんなのバスは要らないのではないかと思う。物産所等で軽トラックを購入し、独居高齢者などが多い地区へ売り行くなどの事業の財源に充てたりするのはどうか。

(委員) 未達成事項については、市民会議で検討することが必要でないか。

(委員) サンセット方式とはどういうものか。

(事務局) 事業に対し3年などの期限を決め、その都度事業評価や見直しを行う方法。

導入が進んでいないため、引き続き取り組んでいきたい。

(委員) 新工業団地について、18haの用地を3区画まで分譲はするが賃貸はせず、補助金についても5ha以上からとなっている。円高の影響等もあり、日本の製造業の大手企業は海外へ流出している中、18haを1区画として売却するのは非常に見通しが難しいのではと思う。企業の進出による税収増や人口、雇用の増などスケールメリットを望むのであれば、小さく区分けして、身近に企業進出できる企業を探すことがよいのでは。補助金についても細分化する必要があると思う。

(事務局) 新工業団地は、約25億円の借入金で事業を行っているため、売れない場合はその金利を市が負担することになる。一刻も早く売するためには細分割して売れることも1つの方法であるが、18haを一括して売るといった方針で進めている。

また、みんなのバスを例として、行政が全てを行うのではなく、地区や婦人会、NPOなどの住民組織などと事業の内容や実施主体などを検証し、業務を進めていく必要がある。インフォーマルな部分については地域独自の助け合いと合わせた形で、行政のスリム化を図っていくことも課題である。

(委員) 行政が入ったみんなのバスは、行政側が決めた内容となる。意見を聞くと行政側から言われても、決められた中での変更となる。どこか声の掛け違いがあるのではないか。

(委員) 山内では現在3地区でみんなのバスを運行しているが、かなり順調に運行されている。地域の方にも大変喜ばれており、市に頼らず運営ができないかという方策も検討している。

(委員) いのししについて、防護柵等で防ぐだけでなく、いのししを狩猟することは検討されているか。狩猟する人を育成することも必要と思う。

(事務局) いのししの狩猟については、近い形での事業費を予算化する予定。

(委員) いのししの餌付けをして一網打尽にするなど合理的な方法もあるのでは。

(委員) 指摘事項⑩で財政見通しに人口減少を加味できていないとのことだが、国のデータ等から反映させることができるのでは。高齢化や生産人口の減少など10年後の状況を見据えた行政改革を行っていく必要がある。

(委員) 遊休財産の売却がどの程度できたのか。

また職員数の削減により住民サービスが低下するのではないか。市役所内をみると兼務が非常に多く、無理なく業務がこなしているのか。10年後を見越した場合、市役所の適正な定員はどの程度なのかといった計算も必要であり、削減するばかりではいけない。

レモングラスやいのししの事業は売上げが出ているので、いつまでも市税が使われるのはどうかと思う。

(委員) 工業団地は、企業の応募等はあるのか。早期の企業の進出を望む。

また、市役所の移転などの予定はあるのか。

(事務局) 企業誘致については兼務により増員し対応をしていく。

市庁舎については、新幹線の計画に伴い、一部計画にかかっている部分がある。また本庁舎については S41 に建設され、耐震の対応ができていないため、現在耐震調査を行っている状況。今後の方針は検討し、課題について対応していく必要があるが今のところ未定である。

(委員) 事業を減らした場合、住んでいる人の幸福度が下がると逆効果である。市民の力を活用し、サービスの質を落とさないようにしていくべきでは。事業の評価や見直しは必要だが、団体への補助金などが無くなってしまうことで人のやる気も無くなってしまっただけでは意味が無い。また地域の活動が難しい時代になってきているので、逆に人のつながりを活用していかないと、いざと言う時に人材がいなくなる場合がある。市民活動をしている中で、個人の意見としてではなく、話し合いの場を作ってもらえたらと思う。

(委員) 地縁や絆が薄れかけている中、協働でできる活動で絆づくりができたと思う。情報の公開が武雄市は下手なのではないか。みんなのバスについても内容を理解していない人もいるので、啓発活動などが必要なのでは。

合併した当初は、地域審議会があり意見を述べる場があったが、現在は市と距離感があるように感じるので、意見を述べる場があればいいと思う。

(事務局) 意見については、項目として整理し記録として残す。具体的な進め方の中で要望等については今後すり合わせをしながら業務に当たっていければと思う。

行政改革プラン(案)については、詳細な内容まで書くことは限界があるため、基本的な考え方について承認いただければ、これで公表したいと思う。

(委員) 詳しくは書けないというが、市民側から見ると、遊休財産がどこを売却されたのかなどが全く分からない。将来に向けた課題も市民に分かるような書き方をした方がいいのでは。

支所の活用もある程度できていると思うが、どこがどうできているのか分からない。市民会議の資料や市民に提示する場合は、もっと分かりやすくしてほしい。

(事務局) 今後のスケジュールについて、素案におけるパブリックコメントを実施し、行革推進本部会議で協議し、議会へ報告した上で、年内若しくは年明けに市のホームページで公表していきたい。

(委員) 目標として、「武雄に住みたい」といったような文言を入れて欲しい。

(事務局) ご意見として提案していきたい。素案として行革本部会議に上げていってよろしいか。⇒了承